仕様

■ アンプ部

実用最大出力合計値： 120 W（非同期駆動、JEITA）
実用最大出力
　フロント（L/R）： 30 W + 30 W（1 kHz、4 Ω、非同期駆動、JEITA）
　サブウーハー： 30 W + 30 W（100 Hz、4 Ω、非同期駆動、JEITA）
負荷インピーダンス
　フロント（L/R）： 4 Ω
　サブウーハー： 4 Ω
信号対雑音比（SN 比）
　BD/DVD、テレビ： 80 dB
入出力端子

音声	光デジタル音声入力（テレビ専用）：	1
映像・音声	HDMI 入力（BD/DVD）：	1
	HDMI 出力 ARC 対応（テレビ）：	1
その他	Ir システム：	1

本機は、ビエラリンク Ver.5 に対応しています。

■ システム部

寸法（幅 × 高さ × 奥行）
　SC-HTB50： 約 1029 mm × 108 mm × 58 mm（本体）
　約 1029 mm × 108 mm × 80 mm（本機後面に壁掛け金具取り付け時）
　SC-HTB10： 約 800 mm × 108 mm × 58 mm（本体）
　約 800 mm × 108 mm × 80 mm（本機後面に壁掛け金具取り付け時）
質量
　SC-HTB50： 約 3.4 kg（本体）
　約 3.5 kg（壁掛け金具取り付け時）
　SC-HTB10： 約 3.2 kg（本体）
　約 3.3 kg（壁掛け金具取り付け時）

■ スピーカーシステム部

フロントスピーカー部（L/R）
　1 ウェイ 1 スピーカーシステム（バスレフ型）： 6.5 cm コーン型フルレンジ ×2
サブウーハー部
　1 ウェイ 1 スピーカーシステム（バスレフ型）×2： 8 cm コーン型ウーハー ×2

■ 総合

電源：	AC100 V、50/60 Hz
消費電力（本体）：	48 W
電源スタンバイ時の消費電力：	0.1 W

動作使用条件
　周囲温度： 0 ℃～ 40 ℃
　相対湿度： 20 %～ 80 %（結露なきこと）

注）この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

■ 本機で再生できるデジタル信号

AAC	地上デジタル放送や BS 放送など
ドルビーデジタル	ブルーレイディスクや DVD など
DTS	ブルーレイディスクや DVD など
LPCM（2 チャンネル）	CD や DVD オーディオなど
LPCM（マルチチャンネル）	ブルーレイディスクや DVD オーディオなど

- 光デジタル接続している場合、48 kHz を超えるサンプリング周波数の入力信号は再生できません。
  上記の信号が入力された場合は、サウンド効果、ドルビーバーチャルスピーカーの機能は自動的に解除されます。

■ お手入れ

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

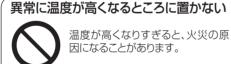
傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

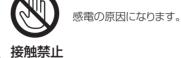
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

コイン電池やねじ類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

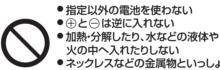
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

コイン電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 後面や側面の通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

テレビ台やラックなどに置いたり、テレビの前に置いて使うときは、落下・転倒防止処置をする

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
- 落下・転倒防止処置は必ず工事専門業者にご依頼ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・
「故障かな！？」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- **製品名**　ホームシアターオーディオシステム
- **品番**
- **故障の状況**　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　**8 年**

当社は、このホームシアターオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話
フリーダイヤル **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター
電 話　365日 受付9時～20時
フリーダイヤル **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187
■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444
Osaka (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。
当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の 修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地域	電話	所在地
北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0510

Panasonic

取扱説明書

ホームシアターオーディオシステム

品番 **SC-HTB50**
SC-HTB10

イラストは SC-HTB10 です。

保証書別添付　工事説明書別添付

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください　詳しくは下記をご覧ください

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/　携帯
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

HDMI　VIERA Link

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571 － 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTX1157-3S
F0410MH3110

付属品

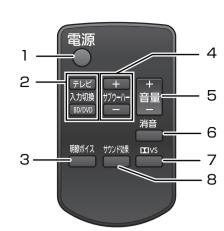
付属品をご確認ください。
付属品の品番は、2010 年 4 月現在のものです。変更されることがあります。

□ リモコン（1個）（N2QAYC000028）●お買い上げ時は、コイン電池が入っています。	□ HDMIケーブル（1本）（K1HA19CY0001）	□ 電源コード（1本）（RFAX1027A）	□ Irシステムケーブル(1本) 両面テープ(1枚)（K2ZZ02C00007）
□ 壁掛け金具（2個）（RYQX1034-K）	□ ねじ固定用ピン（2本）（RYQX1048）	□ 取付用ねじ（SC-HTB50: RYQX1051）（SC-HTB10: RYQX1042-1） 壁掛け金具固定用ねじ(2本) / SC-HTB50にのみ付属: 取付金具固定用ねじ(4本)、クランパー固定用ねじ(1本)	
□ 壁寄せスタンド用取付金具（1個）（RYQX1045-K）（SC-HTB50にのみ付属）		□ クランパー（1個）（RMRX1017-K）（SC-HTB50にのみ付属）	□ クッション（1個）（RMFX1053）（SC-HTB50にのみ付属）

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

CLUB Panasonic

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めできます。
http://p-mp.jp/cpm

愛情点検　長年ご使用のホームシアターオーディオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

1 各部のはたらき

リモコン（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）

1 本機の電源を「切/入」する
2 入力を切り換える
テレビ.........HDMI 映像・音声出力端子に接続した機器を使う
BD/DVD ...HDMI 映像・音声入力端子に接続した機器を使う
3 明瞭ボイスを「切/入」する
4 サブウーハーレベルを調整する
5 音量を調整する
6 一時的に音を消す
7 ドルビーバーチャルスピーカーを「切/入」する
8 サウンド効果を「切/入」する

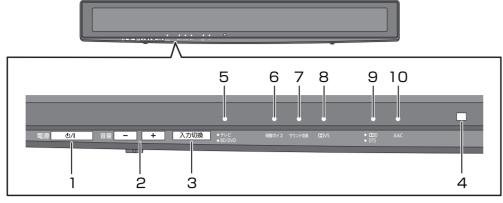
絶縁シートを引き抜いてからお使いください。

絶縁シートは引き抜いたあと、適切に処理をしてください。

■ コイン電池を交換する

① ホルダーを引き抜く

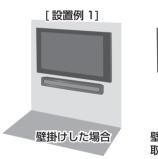
② 電池を入れてホルダーを戻す

+マークを上にする

● 本機の近くで操作しても動作しない場合は、新しいコイン電池（CR2025）と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です）

本体

1 電源を「切/入」する
2 音量を調整する
3 入力を切り換える
テレビ..........HDMI 映像・音声出力端子に接続した機器を使う
BD/DVD....HDMI 映像・音声入力端子に接続した機器を使う
4 リモコン受信部
受信範囲 正面....約 7 m 以内
左右....各約 30°
上........約 10°
下........約 30°

ランプ（以下の場合に点灯します）

5 選択している入力を表示
緑点灯..........入力切換で「テレビ」を選択時
赤点灯..........入力切換で「BD/DVD」を選択時
6 明瞭ボイス動作時※1
7 サウンド効果動作時※1
8 ドルビーバーチャルスピーカー動作時※1
9 音声信号入力検出時に、約 4 秒間点灯します※2
緑点灯.......... ドルビーデジタルの音声信号入力時
赤点灯..........DTSの音声信号入力時
10 AACの音声信号入力時※2

※1 通常時は消灯しています。電源「入」時に現在の設定が「入」になっていると約 4 秒間点灯します。また、音量とサブウーハーレベルの操作時に点滅します。
※2 ドルビーバーチャルスピーカーを操作した場合にも点灯します（PCM 入力時は点灯しません）。

2 設置・接続する

本機を壁掛けする、または壁寄せスタンドに取り付けるときは、「取り付け工事説明書」をお読みください。（取り付ける際は、必ず工事専門業者にご依頼ください）

設置

[設置例 1]

[設置例 2]

壁寄せスタンドに取り付けた場合※

[設置例 3]

テレビ台やラックなどに置いた場合

[設置例 4]

テレビの前に置いた場合

イラストはイメージです。

[設置例 3]、[設置例 4] でお使いになる場合は、必ず落下・転倒防止処置（下記）をしてください。

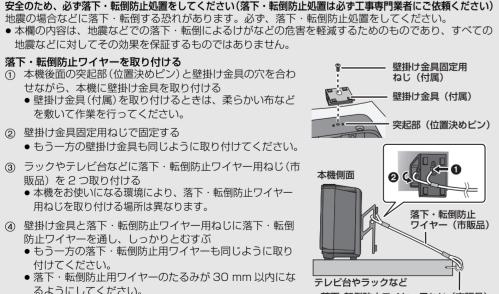
テレビの近くに設置してください。

● 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
● 重いものを上に載せないでください。
● ビデオなどの熱源となるものの上に直接置かないでください。（設置例 3、4）
● テレビスタンドの上などの不安定な場所に設置しないでください。（設置例 3、4）
※ 2010年4月現在、対応している壁寄せスタンドはTY-WS4P3T です。本機に対応した壁寄せスタンドの情報については、販売店またはパナソニックのホームページでご確認ください。
※ SC-HTB10を壁寄せスタンドに取り付ける場合は、別売のSH-KB10が必要です。

■ 本機をテレビ台やラックなどに置いた場合、またはテレビの前に置いて使う場合は

安全のため、必ず落下・転倒防止処置をしてください（落下・転倒防止処置は必ず工事専門業者にご依頼ください）
地震の場合などに落下・転倒する恐れがあります。必ず、落下・転倒防止処置をしてください。
● 本欄の内容は、地震などでの落下・転倒によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

落下・転倒防止ワイヤーを取り付ける

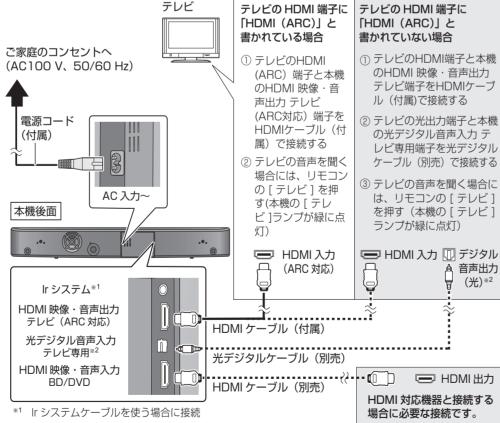
① 本機後面の突起部（位置決めピン）と壁掛け金具の穴を合わせながら、本機に壁掛け金具を取り付ける
● 壁掛け金具（付属）を取り付けるときは、柔らかい布などを敷いて作業を行ってください。

② 壁掛け金具固定用ねじで固定する
● もう一方の壁掛け金具も同じように取り付けてください。

③ ラックやテレビ台などに落下・転倒防止ワイヤー用ねじ（市販品）を 2 つ取り付ける
● 本機をお使いになる環境により、落下・転倒防止ワイヤー用ねじを取り付ける場所は異なります。

④ 壁掛け金具と落下・転倒防止ワイヤー用ねじに落下・転倒防止ワイヤーを通し、しっかりとむすぶ
● もう一方の落下・転倒防止用ワイヤーも同じように取り付けてください。
● 落下・転倒防止用ワイヤーのたるみが 30 mm 以内になるようにしてください。

● 本機の置きかたによっては、テレビの各種センサーなどの動作に影響を与えてしまうことがあります。その場合は、テレビの各種センサーが正常に動作する位置まで本機をテレビから離して置くか、本機をテレビの前に置かないようにしてください。
● 本機の置きかたによっては、テレビのリモコン受信部をさえぎってしまい、テレビのリモコンが働かないことがあります。その場合はリモコンの位置を変えて操作してみてください。それでもリモコンが働かないときは、Ir システムケーブル（付属）をお使いください。

3Dグラス用発信部をさえぎってしまうことがありますので、本機を3D対応テレビの前に置かないでください。

接続

● **接続するときは、各機器の電源を切ってください。**
● 接続するテレビや各機器の取扱説明書もご覧ください。
● 付属の HDMI ケーブルはテレビとの接続にご使用ください。接続時、テレビの HDMI 端子をご確認ください。「HDMI（ARC）」と書かれている HDMI 端子と接続すると、HDMI ケーブル一本でかんたんに接続できます。

ARC とは？

ARC とは Audio Return Channel（オーディオ リターン チャンネル）の略称で、HDMI ARC とも呼ばれ、HDMI が持つ機能のひとつです。「HDMI（ARC）」と書かれた端子と本機を HDMI 接続すると、従来テレビからの音声を聞くために必要だった光デジタルケーブルが不要になり、HDMI ケーブル 1 本でテレビの映像と音声が楽しめるようになります。

● **すべての接続が完了するまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。**
電源プラグをコンセントに接続した状態で、本機とすべての接続機器の電源が切れているときは、約 0.1 W の電力を消費しています。長期間使用しないときは節電のために抜いておくことをおすすめします。
電源プラグを抜くときは、必ず本機の電源を切ってから抜いてください。

お知らせ

■ 付属以外の HDMI ケーブルをご使用される場合
● 当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
品番： RP-CDHS10（1.0 m）、RP-CDHS15（1.5 m）、
RP-CDHS20（2.0 m）、RP-CDHS30（3.0 m）など
● HDMI ロゴ（表紙）のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。

■ 本機は3Dに対応しています
3D対応テレビ、3D対応のブルーレイディスクレコーダー/プレーヤーを本機に接続して、市販のブルーレイ3Dディスクなどを迫力ある3D映像でお楽しみいただけます。

3 操作する

準備
テレビの電源を入れ、テレビの音量を "0"（ゼロ）にする。

1 [電源] を押して、本機の電源を入れる

2 [テレビ] または [BD/DVD] を押して、接続している機器を選ぶ
● [BD/DVD] を選んだときは、テレビの入力を本機を接続した入力（HDMI1 など）に切り換え、接続している機器で再生の操作をしてください。

3 [+ 音量 −] を押して、スピーカーの音量を調整する
調整範囲：0（最小）～ 100（最大）

4 [+ サブウーハー −] を押して、サブウーハーのレベルを調整する
● 押すごとに切り換わります。
調整範囲：4段階

■ 一時的に音を消すには（消音）

[消音] を押す
● 消音中は、[明瞭ボイス] ランプ、[サウンド効果] ランプ、[VS] ランプが点滅します。
● もう一度 [消音] を押すと、消音が解除されます。

本機の電源を切るときは、なるべく音量を下げてから電源をお切りください。

お知らせ
● 音量とサブウーハーレベルの操作時には、本機のランプが「左から右（+）」または「右から左（−）」に点滅します（⇨「各部のはたらき」）。調整範囲の値が、最小または最大になったときは、ボタンを押してもランプは点滅しません。
● 本システムでは音量値表示はされません。シアターの音量値表示に対応した当社製テレビ（ビエラ）と組み合わせた場合には、テレビ画面に音量値が表示されます（⇨ 右記「本機の音量調整をする」）。

いろいろな音場効果

[サウンド効果]、[VS] または [明瞭ボイス] を押すと、現在の設定がランプで表示されます。
（音場効果「入」時は点灯し、音場効果「切」時は点滅します。操作後、約 4 秒で消灯します）

音場効果を切り換えるには
ランプが点灯または点滅中にそれぞれのボタンを押してください。
押すたびに「入」/「切」が切り換わります。

サウンド効果	音に広がり感や臨場感を与えるなどの効果を楽しむことができます。
ドルビーバーチャルスピーカー	サラウンド再生用のスピーカーを接続しなくても 5.1 チャンネルシステムで聞いているような立体的な仮想サラウンドを楽しむことができます。
音声を明瞭にする（明瞭ボイス）	テレビドラマや野球解説などの音声を聞き取りやすくし、またテレビ画面の方向から音が聞こえてくるような効果を出すことができます。

ビエラリンク（HDMI）を使う

テレビ（ビエラ）のリモコンで行う操作です。

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは
本機と HDMI ケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

準備
① 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク制御が動作するように設定する
② ビエラリンク（HDMI）が正常に動作するように、テレビ（ビエラ）側の設定を以下のように変更する
[テレビ（ビエラ）によっては表示が異なる場合があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。]
● 「電源オン時の音声出力」を「シアター（AVアンプ）」にする
● 「音声をシアター（AVアンプ）から出す」を選ぶ
● 「サウンドモード」を「オート」にする
③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を「切/入」したあと、テレビの入力をHDMIに切り換えて、BD/DVD 端子に接続した機器の再生を開始し、画像が正しく映ることを確認する（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

本機の電源を自動で「入 / 切」する	テレビ（ビエラ）の電源を「入」にすると、本機の電源も入ります。（「切」にすると、本機の電源も切れます）
本機の音量調整をする	テレビ（ビエラ）のリモコンで本機の音量調整ができます。 ● 音量値は、ビエラリンク（HDMI）Ver.5 以降の当社製テレビ（ビエラ）で表示されます。
サウンド効果を自動で設定する	ビエラリンク対応の接続機器でデジタル放送の番組を視聴または再生中、DVD、CD、SD などを再生中に、そのソースに応じたサウンド効果に自動的に設定します。（番組ぴったりサウンド） 手動でテレビ側のサウンドモードを変更して、本機のサウンド効果も連動して切り換えることもできます。 ● 番組ぴったりサウンドは、ビエラリンク（HDMI）Ver.3 以降の当社製テレビ（ビエラ）で動作します。
テレビ（ビエラ）から音声を出すように切り換える	テレビ（ビエラ）のビエラリンクメニューから「音声をテレビから出す」を選択します。 ビエラリンク（HDMI）Ver.4 以降に対応の当社製テレビ（ビエラ）との組み合わせの場合は、自動的に本機の電源を切る設定ができます。（こまめにオフ機能） 本機から音を出すには、「音声をシアター（AV アンプ）から出す」を選んでください。本機の電源が自動で入ります。

お知らせ
● テレビ（ビエラ）のリモコンでチャンネル選択などの操作を行うと、本機の入力は [テレビ] になります。HDMI入力端子に接続した機器で再生などの操作を行うと、本機の入力は [BD/DVD] になります。
● テレビ（ビエラ）と本機の音量調整の最大値が異なる場合があります。
● 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2009年12月現在）
● ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
● ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。
● お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマーク（表紙）が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
● ビエラリンク（HDMI）Ver.3 以降に対応している当社製テレビ（ビエラ）と接続時に、映像が音声よりも遅れている場合に、自動的に音声を遅らせて映像に近づけます。（オートリップシンク）
ビエラリンク（HDMI）Ver.2 以前の当社製テレビ（ビエラ）、または当社製以外のテレビを接続している場合は、音声を「40 ms（msec）」遅らせる設定になります。
● ビエラリンク（HDMI）を使わない設定（下記）にしている場合は、ビエラリンク（HDMI）を使う設定にしてください。[お買い上げ時はビエラリンク（HDMI）を使う設定になっています]

4 故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときは販売店にご連絡ください。

■ 本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには
電源「入」の状態で、本機の [電源⏻/I] を 4 秒以上押したままにしてください。本機のランプがすべて点灯して数回点滅したあと消灯し、お買い上げ時の設定に戻ります。
本機の動作がおかしいときなどは、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

接続や操作

電源が入らない。
● 電源プラグがコンセントに正しく接続されているか、確認してください。
● 電源ボタンを押しても [テレビ]/[BD/DVD] ランプまたは [D]/[DTS] ランプが点滅し、すぐに電源が切れてしまう場合は、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。

機器の再生を始めても音や映像が出ない。
● 入力信号を正しく選択してください。
● 「消音」になっていませんか？ [消音] を押して消音状態を解除してください。
● 本機の電源を「切/入」してください。
● 接続経路に問題がない場合、ケーブルの異常かも知れません。お手持ちの他のケーブルで、再度接続を試みてください。
● 光デジタル接続をしている場合、48 kHz を超えるサンプリング周波数の入力信号は再生されません。音を出すためには、再生機器側の「PCM ダウンサンプリング変換」などの設定で出力信号のサンプリング周波数を 48 kHz に変換する設定にしてください。詳しくは再生機器側の取扱説明書をご覧ください。
● [D]/[DTS] ランプが点滅し、音が出ない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。
● [テレビ]/[BD/DVD] ランプが点滅し、音が出ない場合は、以下の処置をしてください。
−接続した機器の電源を「切 / 入」してください。
−本機の電源を切り、HDMI ケーブルを抜き差しした後、再度電源を入れてください。

当社製以外のARC対応テレビと接続していて音声がうまく再生されない。
● HDMIケーブルと光デジタルケーブル（別売）を接続し、下記の操作を行い、ARC を使わない設定にしてみてください。
① リモコンの [テレビ] と本機の [入力切換] を 2 秒以上押したままにする
② 本機のすべてのランプ（[テレビ]/[BD/DVD] ランプを除く）が点滅することを確認する
−元に戻す場合は、リモコンの [明瞭ボイス] と本機の [入力切換] を 2 秒以上押したままにしてください。

主音声と副音声が同時に聞こえる。
● テレビや接続機器のデジタル音声出力の設定を「AAC」や「ビットストリーム」以外に変更し、テレビや接続機器の音声切換機能でお好みの音声を選んでください。詳しくは接続している機器の説明書をご覧ください。

接続や操作（つづき）

リモコンが働かない。
● 絶縁シートがついたままではありませんか？ 絶縁シートを抜いてからお使いください。
● 本機とリモコンでリモコンコードが異なるときは、本機が操作を受け付けません。その場合は本機とリモコンのリモコンコードが同じになるように設定してください。（下記）

本機のリモコンで、他の当社製オーディオ製品が動作してしまう。
● 下記の操作を行い、本機とリモコンを「リモコンコード 2」に設定します。
① 他の当社製オーディオ製品の電源を切ってから、リモコンを本機に向けながら、[明瞭ボイス] と [BD/DVD] を 4 秒以上押したままにする
② 本機のすべてのランプ（[テレビ]/[BD/DVD] ランプを除く）が点滅することを確認する
−元に戻す（「リモコンコード 1」にする）場合は、リモコンの [明瞭ボイス] と [テレビ] を 4 秒以上押したままにしてください。

DVD オーディオを再生しても音が出ない。
● 光デジタルケーブルで接続した場合、著作権保護の理由などで音声が出ないディスクがあります。また光デジタル接続をしている場合、48 kHz を超えるサンプリング周波数の入力信号は再生されません。

HDMI

HDMI 接続で、初めの数秒間の音声が再生されない。
● DVDをチャプターから再生した場合に起こることがあります。接続した映像機器のデジタル音声出力の設定をビットストリーム設定から PCM設定にしてください。

地上デジタル/BS放送の番組で初めの数秒間の音声が再生されない。
● 当社製テレビ（ビエラ）をお使いの場合、テレビのサウンドを「オート」から「スタンダード」に変更してみてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

他社 HDMI 対応機器（テレビやDVDレコーダーなど）との接続時に、動作が不安定になる。
● 下記の操作を行い、ビエラリンク（HDMI）を使わない設定にします。
① リモコンの [BD/DVD] と本機の [入力切換] を 2 秒以上押したままにする
② 本機のすべてのランプ（[テレビ]/[BD/DVD] ランプを除く）が点滅することを確認する
③ 設定変更後に、接続しているすべての機器の電源を「入/切」する
−元に戻す場合は、リモコンの [サウンド効果] と本機の [入力切換] を2秒以上押したままにしてください。
−ビエラリンク（HDMI）を使わない設定にするとARCの機能が働かなくなります。必ず光デジタルケーブルを接続してください。